

近江八幡市の子ども・子育て支援の現状と課題について

－第3期子ども・子育て支援事業計画策定にあたっての検討事項－

1. 現行計画の進捗状況から（第2期計画の課題の積み残し）

令和5年度終了時点で数値目標が未達成となっている事業は、次のとおり

- BP プログラム
- 保育所等の体制整備
- 保育士等の確保
- 産前・産後サポート事業、産後ケア事業の支援
- 正しい食習慣の啓発（学校給食の残食量）
- 事業所への啓発（ワークライフバランス、働き方改革）
- 虐待防止の研修（要保護児童対策地域協議会）
- 養育支援訪問事業（専門的相談支援、育児家事支援）
- ペアレントプログラム、ペアレントメンター事業
- 障がい児にかかる子ども期の生活支援の充実
- 外国人への行政情報の適切な提供
- 学習支援事業

2. アンケート調査結果から 【参考資料 6-1】

アンケート調査についての概要は次のとおり

調査	調査対象	主な調査項目
ニーズ調査	①就学前児童保護者 ②小学生児童保護者	就労状況、職場の両立支援、保育ニーズ、子育て支援サービスの利用、放課後児童クラブ利用意向、子どもの権利、子育て環境
生活実態調査	③④小学3年生とその保護者 ⑤⑥小学5年生とその保護者 ⑦⑧中学2年生とその保護者	（児童・生徒） 普段の生活について、放課後児童クラブについて、幸せに生活するために大切なことについて、近江八幡市について （保護者） 暮らしの状況、子育てについて
貧困対策に関する調査	⑤⑥小学5年生とその保護者 ⑦⑧中学2年生とその保護者 ⑨市内子育て団体等 ⑩市内保育所、幼稚園、認定こども園、小学校	（児童・生徒） 普段の生活について、将来について、部活動・地域クラブ活動等について （保護者） 暮らしの状況、子どもとの関わり方、子どもの将来について

		(子育て団体、園所、小学校) 困難な家庭の子どもの状況および支援について、関係機関との連携、支援活動の課題 および今後の取り組みについて
--	--	--

※各アンケート調査の対象者および設問項目は上記表の通りであるが、結果報告書のとりまとめに際して、回答が重複する設問や分類を変更した方が分かりやすい設問に関しては、一部アンケートの分類が当初の設問分類から変更となっている箇所あり

アンケート調査結果を踏まえ、特徴的であり対策を検討すべき事業は次のとおり

【生活実態調査（保護者）】の結果から

- ・地域と近所の関係の希薄化

【貧困調査（保護者、児童・生徒、子育て団体等）】の結果から

- ・ひとり親家庭支援
- ・ヤングケアラーの存在
- ・困難な家庭への支援にかかる関係機関の連携の必要性
- ・子育て支援団体の資金面での課題および人手の課題

3. 当事者・有識者（子ども・子育て会議委員）の意見から

令和5年度第3回子ども・子育て会議（3/26）において、第3期計画に策定に向けて、取り組むべき方向性や大切にしたい考え方等についていただいた意見は、次のとおり

【基本理念に関するキーワード】

- 地域とのつながりを大切に
- 楽しく子育てができる社会
- 市民が地域を作っていく
- 親が笑顔であれば子どもも笑顔
- 多様性を大切にしたい
- 子どもは社会の一員
- 子どもの意見を表明する力が大事
- 前向き明るいビジョン
- 難しさを抱える人も救われるような「大丈夫」という温かいメッセージ
- 誰もが方針について共通して認識できる
- 社会全体で子育てをする

4. 国の政策（県の政策）との整合から

国のこども大綱（令和 5 年 12 月）に示された子育て施策に関する重要な視点のうち、現行の市の計画に規定のないものについては、以下のとおり

- ・ こどもの意見表明
- ・ 全てのこどもが権利の主体として認められる
- ・ こどもまんなかまちづくり
- ・ こどもの貧困対策
- ・ ヤングケアラーへの支援
- ・ こどもの居場所づくり

上記 1～4 に加え、本日の会議における各委員からの意見を踏まえ、現状把握、課題の設定及び対策の検討を行う（令和 6 年度第 2 回会議までに整理）